



株式会社前田製作所

**2019年3月期
第2四半期
決算説明資料**

2018年11月9日

証券コード 6281

目次

- 1. 2018年度 方針展開**
- 2. 2019年3月期 第2四半期 決算概要**
- 3. 今期の取り組みと今後の見通し**

1. 2018年度 方針展開

2018年度 社長方針

スローガン

『成長に向かって飛び立つ年』

次期中期3ヵ年経営計画における
成長の実現に向けて基盤づくりの年

イノベーションを起こす

まったく新しい技術

まったく新しい方法

仕事の枠組みを変える

2018年度 社長方針

重点戦略

1. コアビジネスの強化

- ✓IT・IoT活用によるすべての業務の効率化
- ✓IoT活用によるお客様との関係性強化
- ✓ものづくりにおけるトータルコストの削減と品質の確保

2. ビジネス領域の拡大

- ✓ICT建機レンタルへの取り組み推進
- ✓国内・海外における販売体制の構築
- ✓技術力を生かした製品群の拡大
- ✓合金微粉末製造における事業化推進

2018年度 社長方針

3. 人財開発活動の強化

社員全員の能力向上と能力を発揮できる仕組みづくり

4. 安全・健康・コンプライアンス

働き方改革の実現

- ✓ワークライフバランスの充実
- ✓働きやすい職場環境の整備

2018年度 経営計画

【2018年度 通期連結業績計画】

(単位:百万円)

区 分	2017年度 実 績	2018年度 計 画
売上高	36,694	35,500
営業利益	1,882	1,520
経常利益	1,932	1,550
親会社株主 に帰属する 当期純利益	1,338	1,050

2. 2019年3月期 第2四半期決算概要

連結業績

連結要約損益計算書

(単位:百万円)

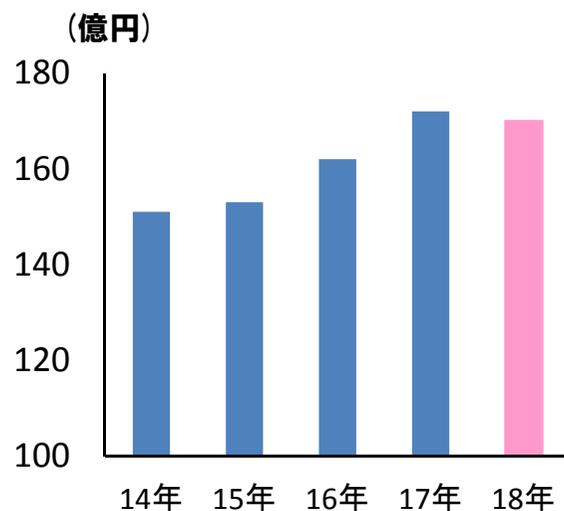
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前期比 増減額
売上高	17,219	17,091	▲127
売上総利益	3,192	3,126	▲65
販売管理費	2,475	2,545	69
営業利益	716	581	▲135
経常利益	752	621	▲130
親会社株主に帰属する 四半期純利益	501	424	▲76

経営基本目標の実績推移

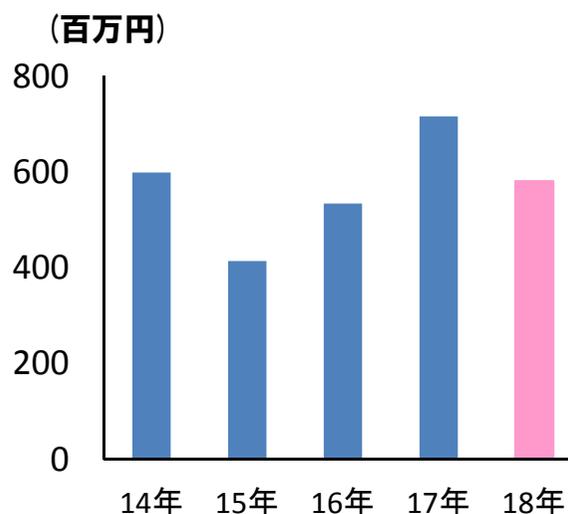
(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前期比 増減率
売上高	17,219	17,091	▲0.7%
営業利益	716	581	▲18.9%
経常利益	752	621	▲17.3%

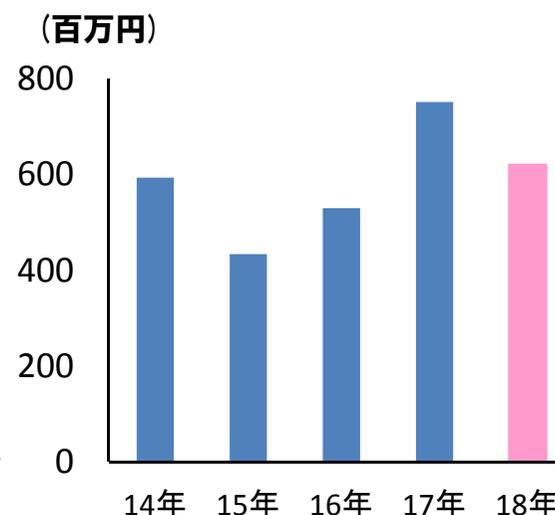
■ 売上高



■ 営業利益



■ 経常利益



連結要約貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計 年度末比 増減額
資産の部			
流動資産	17,702	17,261	▲440
固定資産	13,010	12,897	▲112
資産合計	30,712	30,159	▲552
負債の部			
流動負債	13,699	13,272	▲426
固定負債	5,859	5,430	▲429
負債合計	19,558	18,702	▲856
純資産の部			
株主資本合計	9,832	10,133	301
その他の包括利益累計額合計	1,321	1,322	1
純資産合計	11,153	11,456	303
負債純資産合計	30,712	30,159	▲552

※百万円未満切り捨て

連結要約キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

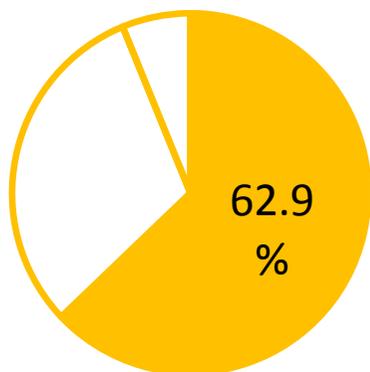
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前期比 増減額
税金等調整前四半期純利益	746	611	▲135
営業キャッシュ・フロー	1,583	1,542	▲41
投資キャッシュ・フロー	▲640	▲843	▲202
財務キャッシュ・フロー	▲470	▲700	▲230
現金等増加・減少(△)額	473	▲0	▲473
現金等期首残高	3,670	5,123	1,453
現金等四半期末残高	4,143	5,123	979

※百万円未満切り捨て

2018年度上期 経営成績の分析

建設機械関連事業

売上高構成比



当期

売上高

10,740百万円

(前期比:0.8% up)



(百万円)
12,000

8,000

4,000

0

売上高



17年上期 18年上期

建機商品

新排出ガス規制後の反動減

(前期比:▲3.0%)



建機レンタル

環境関連製品等が高稼働

(前期比:6.9%)



建機サービス

ストック台数が増加

(前期比:5.6%)



セグメント別売上高

(百万円)

8,000

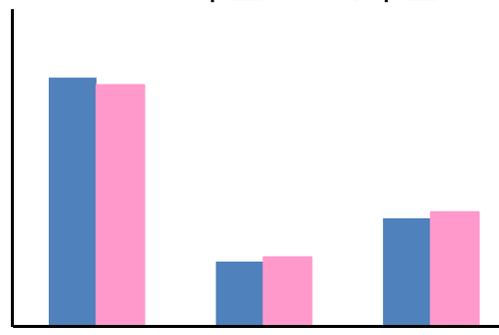
6,000

4,000

2,000

0

■ 17年上 ■ 18年上

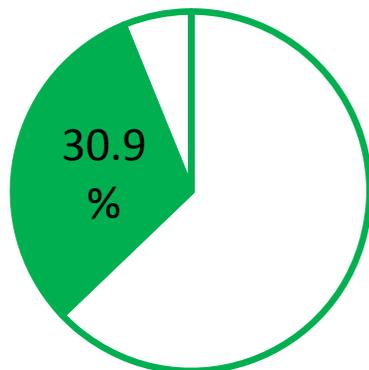


建機商品 建機レンタル 建機サービス

2018年度上期 経営成績の分析

産業・鉄構機械等関連事業

売上高構成比



当期

売上高

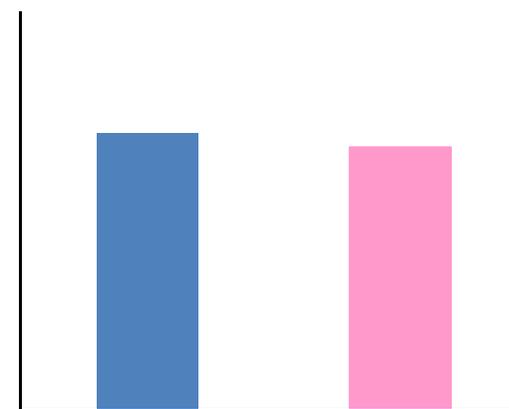
5,285百万円

(前期比:5.0% down)



(百万円)
8,000
6,000
4,000
2,000
0

売上高



17年上期 18年上期

産機製品

クローラクレーンが減少



(前期比:▲18.6%)

鉄構製品

工場設備関連が堅調



(前期比:35.8%)

産機商品

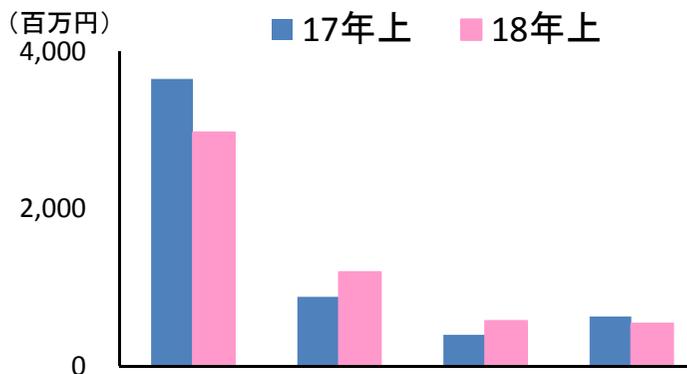
積載型トラッククレーンが増加



(前期比:43.9%)

セグメント別売上高

■ 17年上 ■ 18年上

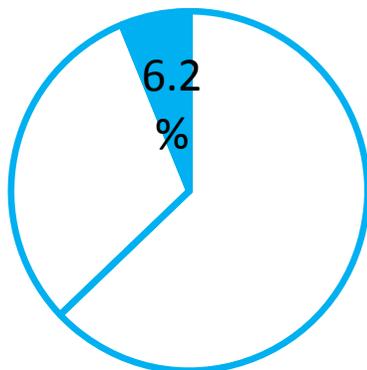


産機製品 鉄構製品 産機商品 産機その他

2018年度上期 経営成績の分析

介護用品関連事業・その他

売上高構成比



当期

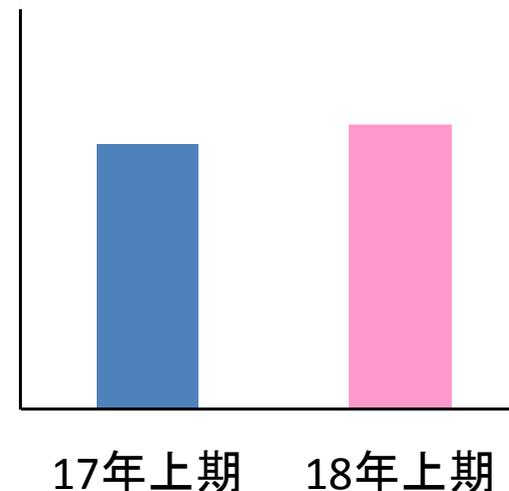
売上高

1,065百万円
(前期比:7.2% up)



(百万円)
1,500
1,000
500
0

売上高



介護用品

マーケットシェアの獲得により微増
(前期比:0.8%)

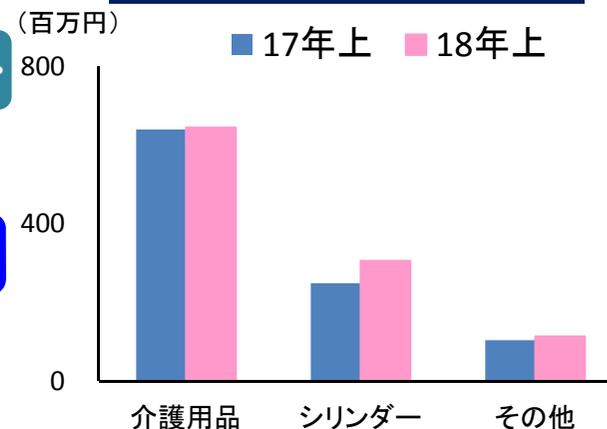


シリンダー製造事業

特装車両向けシリンダーが堅調
(前期比:22.8%)



セグメント別売上高



※「その他」には、MAS、新規事業を含む。

子会社の経営状況

子会社の経営状況

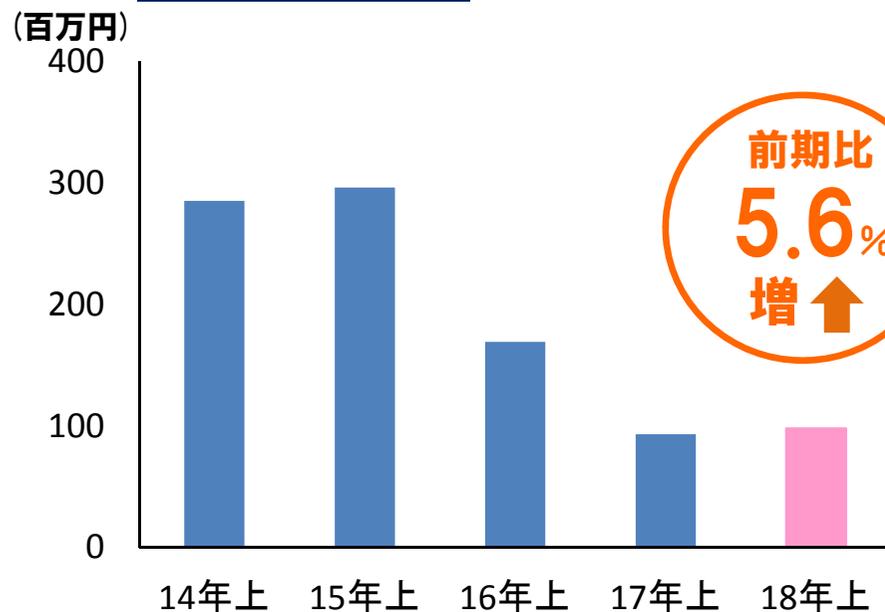
マエダオールサポート

(単位:百万円)

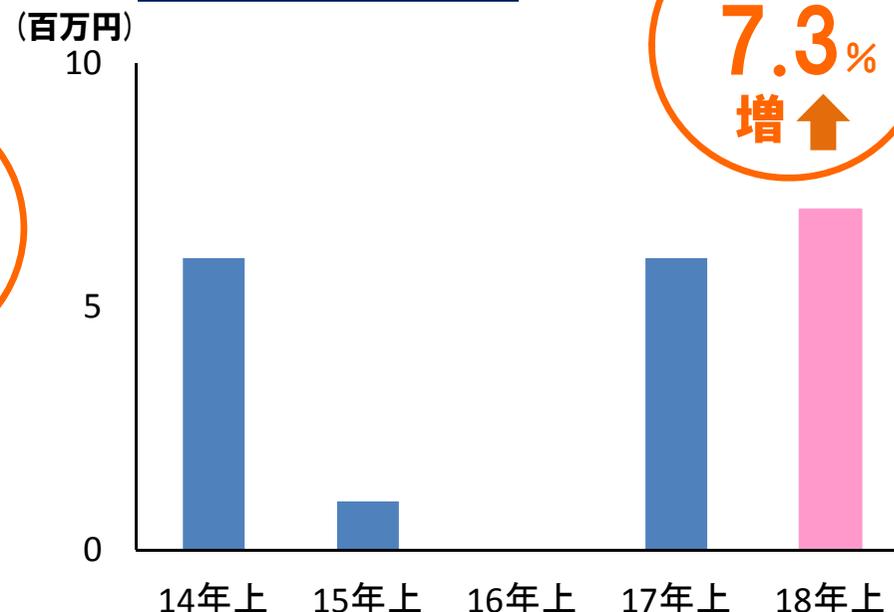
	売上高	営業利益	経常利益
前第2四半期	93	6	6
当第2四半期	98	7	7



売上高の推移



営業利益の推移



子会社の経営状況

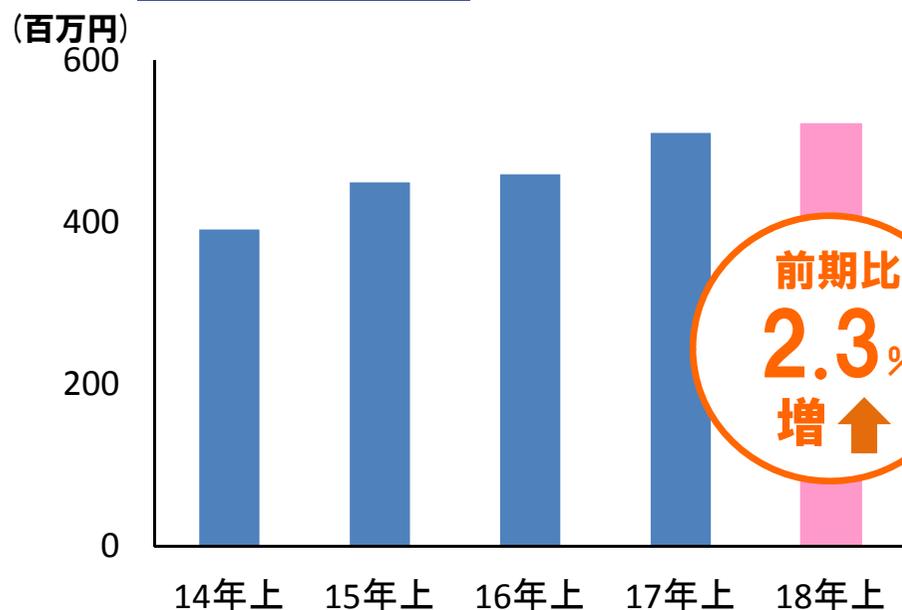
ネオックス

(単位:百万円)

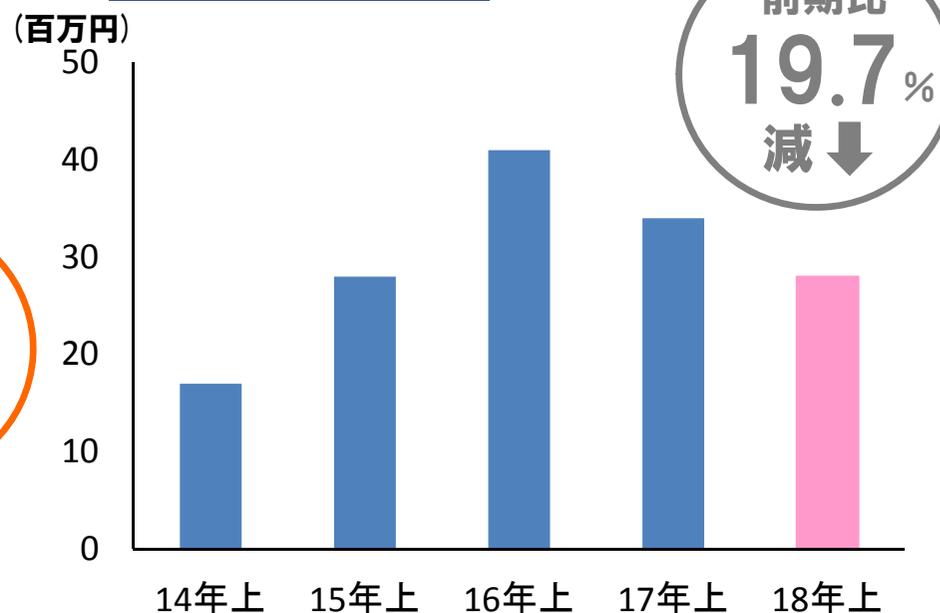
	売上高	営業利益	経常利益
前第2四半期	510	34	29
当第2四半期	521	28	22



売上高の推移



営業利益の推移



子会社の経営状況

サンネットワークマエダ

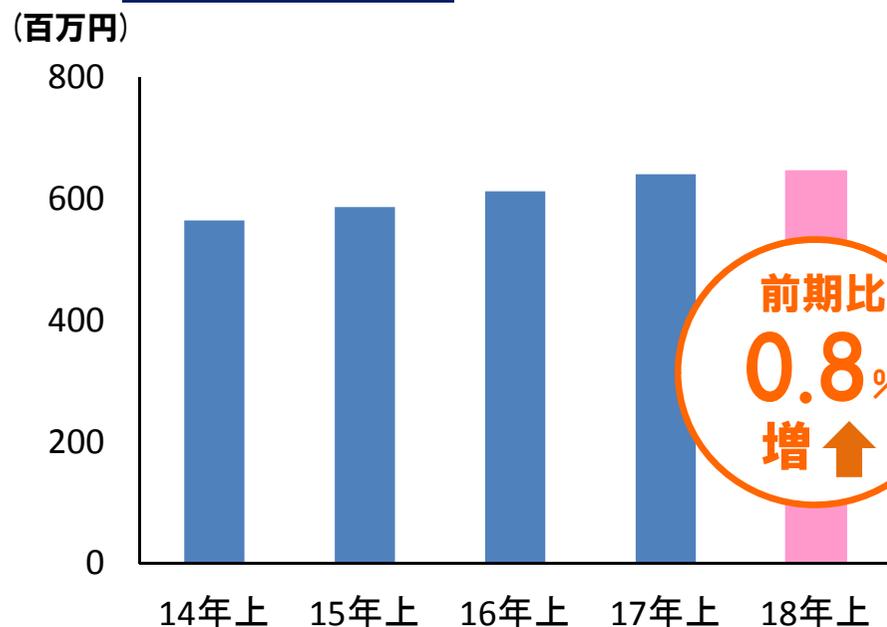


(単位:百万円)

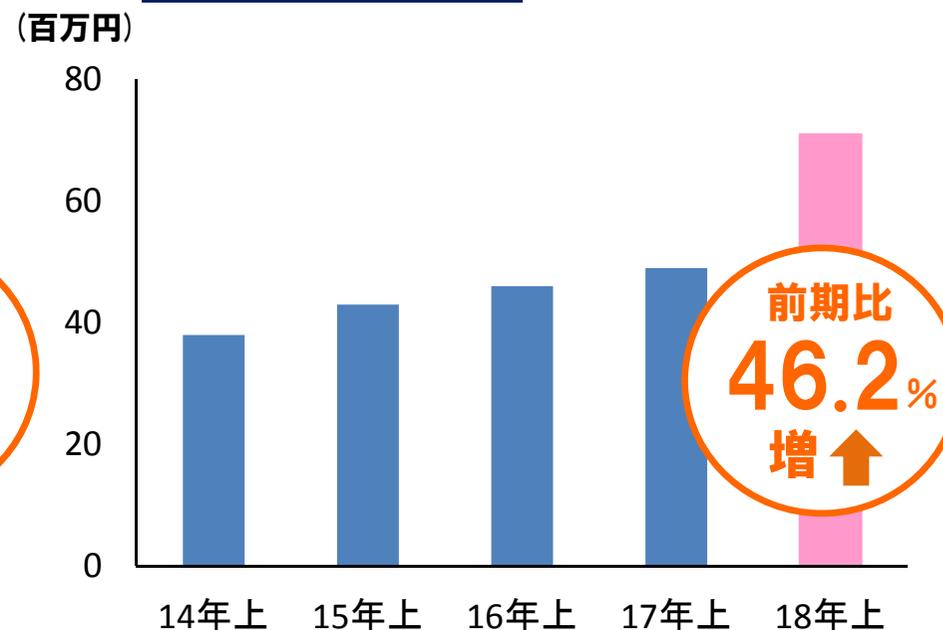


	売上高	営業利益	経常利益
前第2四半期	640	49	39
当第2四半期	645	71	64

売上高の推移



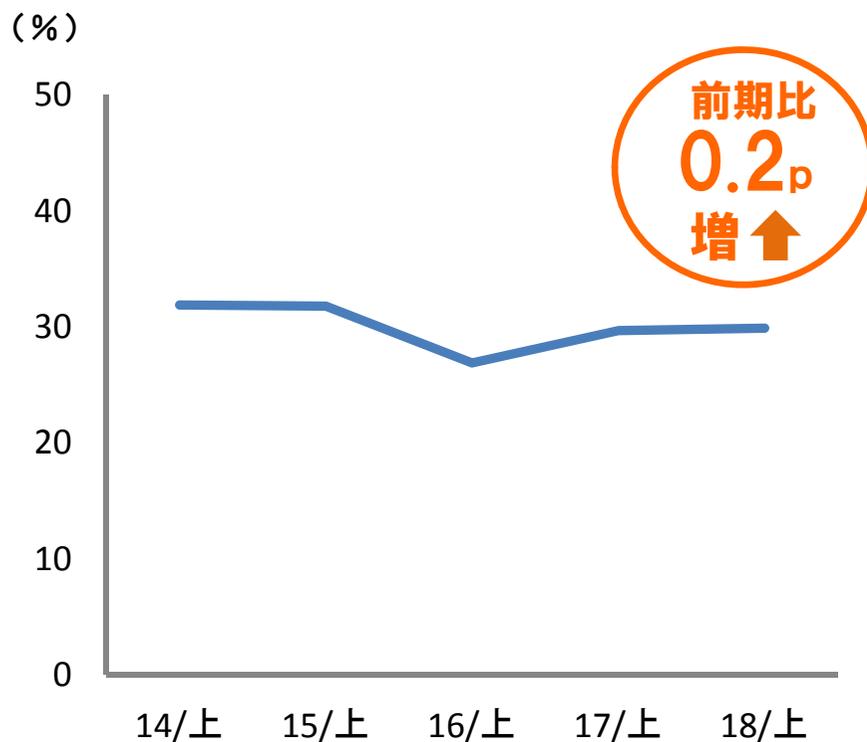
営業利益の推移



建設機械関連事業の取り組み

建設機械関連事業

■ BM思考に基づく営業戦略の強化



マーケットシェア(四商品)【一般】

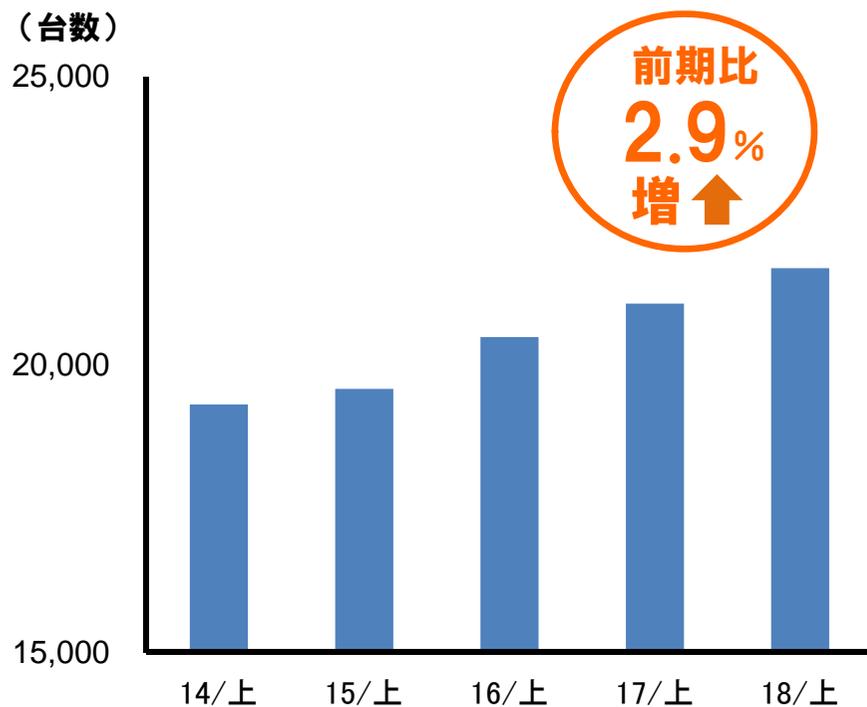


下期取り組み

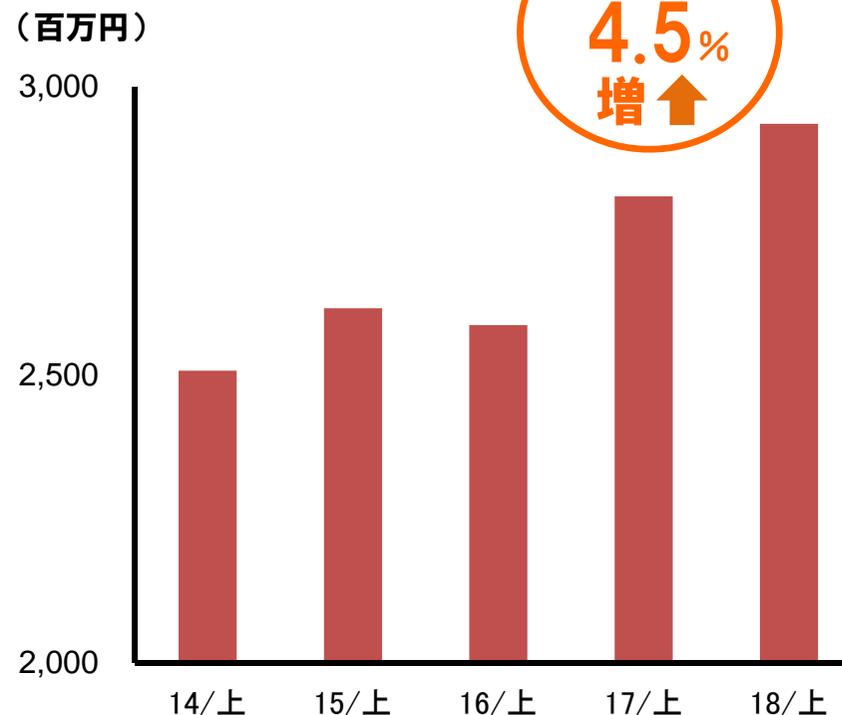
・ターゲット活動推進によるシェアの拡大

建設機械関連事業

IoT活用によるサービス収益力の拡大



ストック台数



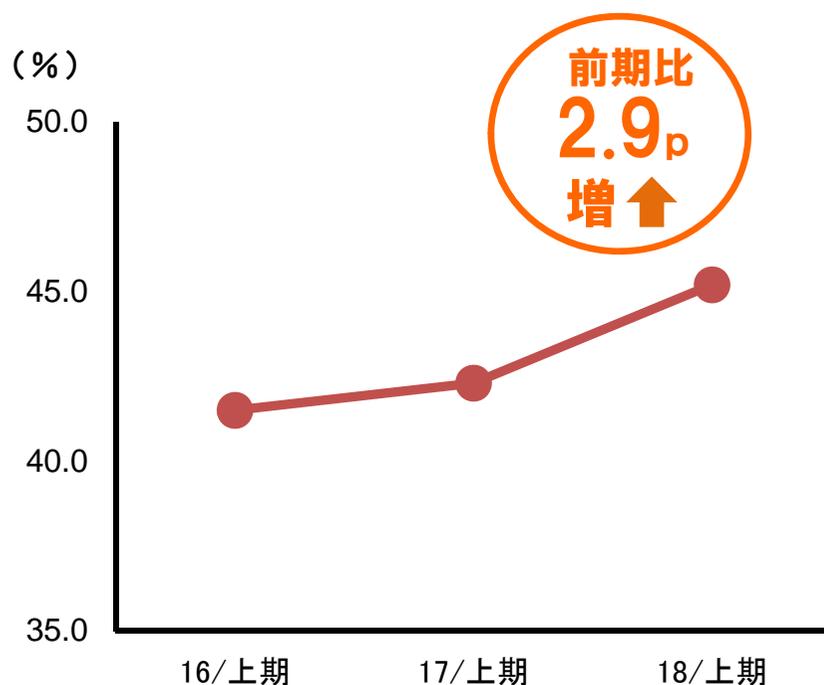
サービス売上高

下期取り組み

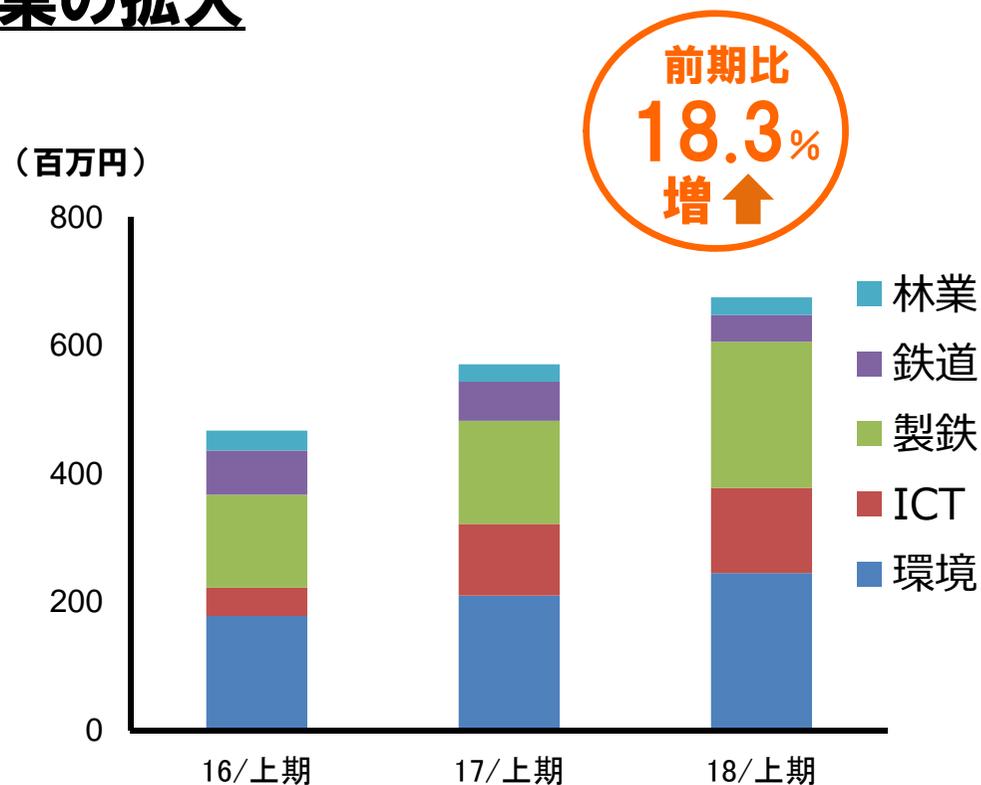
・IoT及びIT活用による収益性の強化

建設機械関連事業

■ 選択と集中によるレンタル事業の拡大



レンタル稼働率(主3商品)



分野別商品売上高

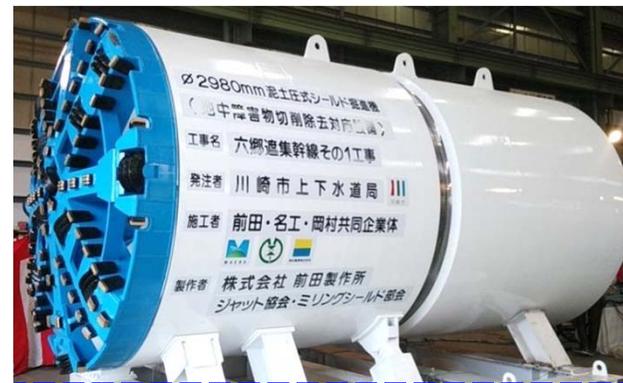
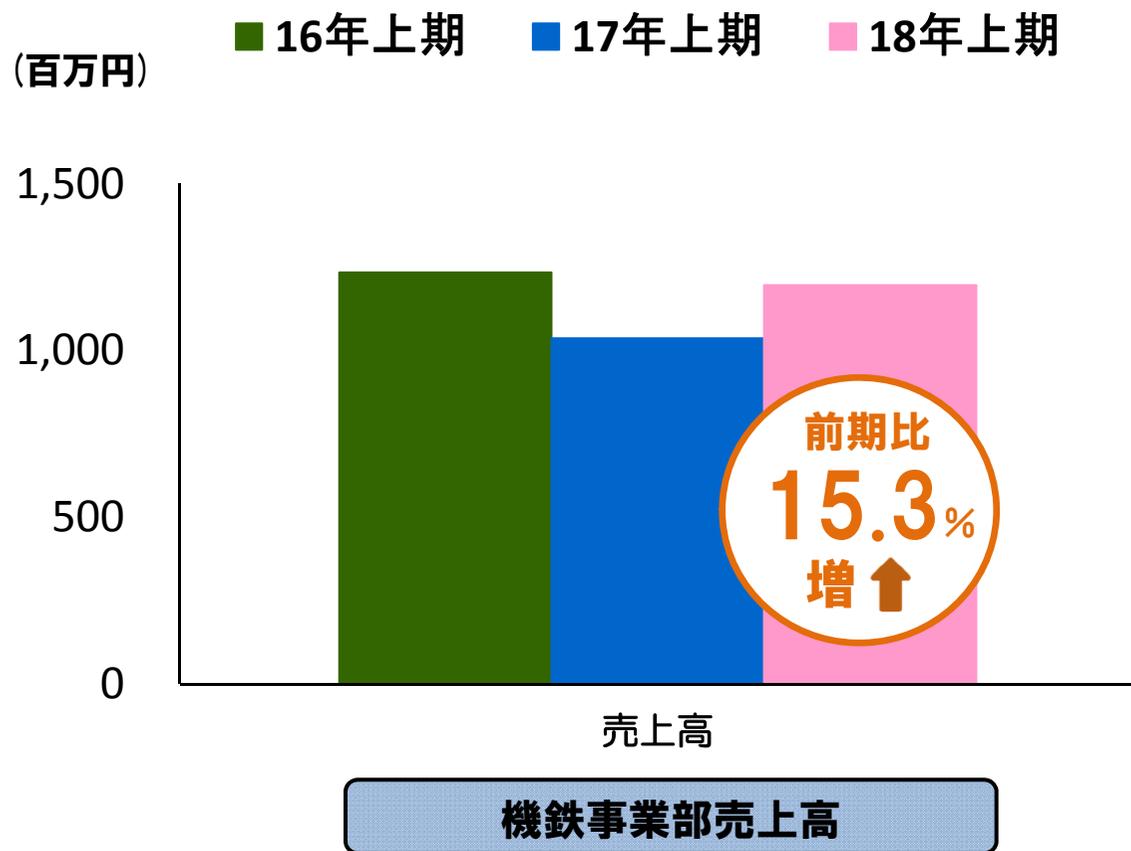
下期取り組み

・提案力強化によるスマコンシェア拡大

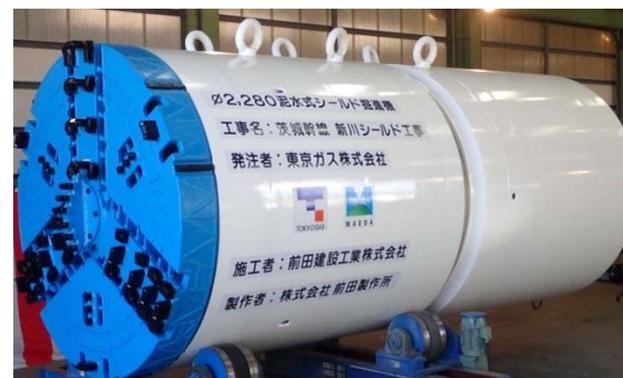
産業・鉄構機械等関連事業 の取り組み

産業・鉄構機械等関連事業

■ コア技術を活かした安定受注製品の受注拡大



川崎六郷シールドマシン



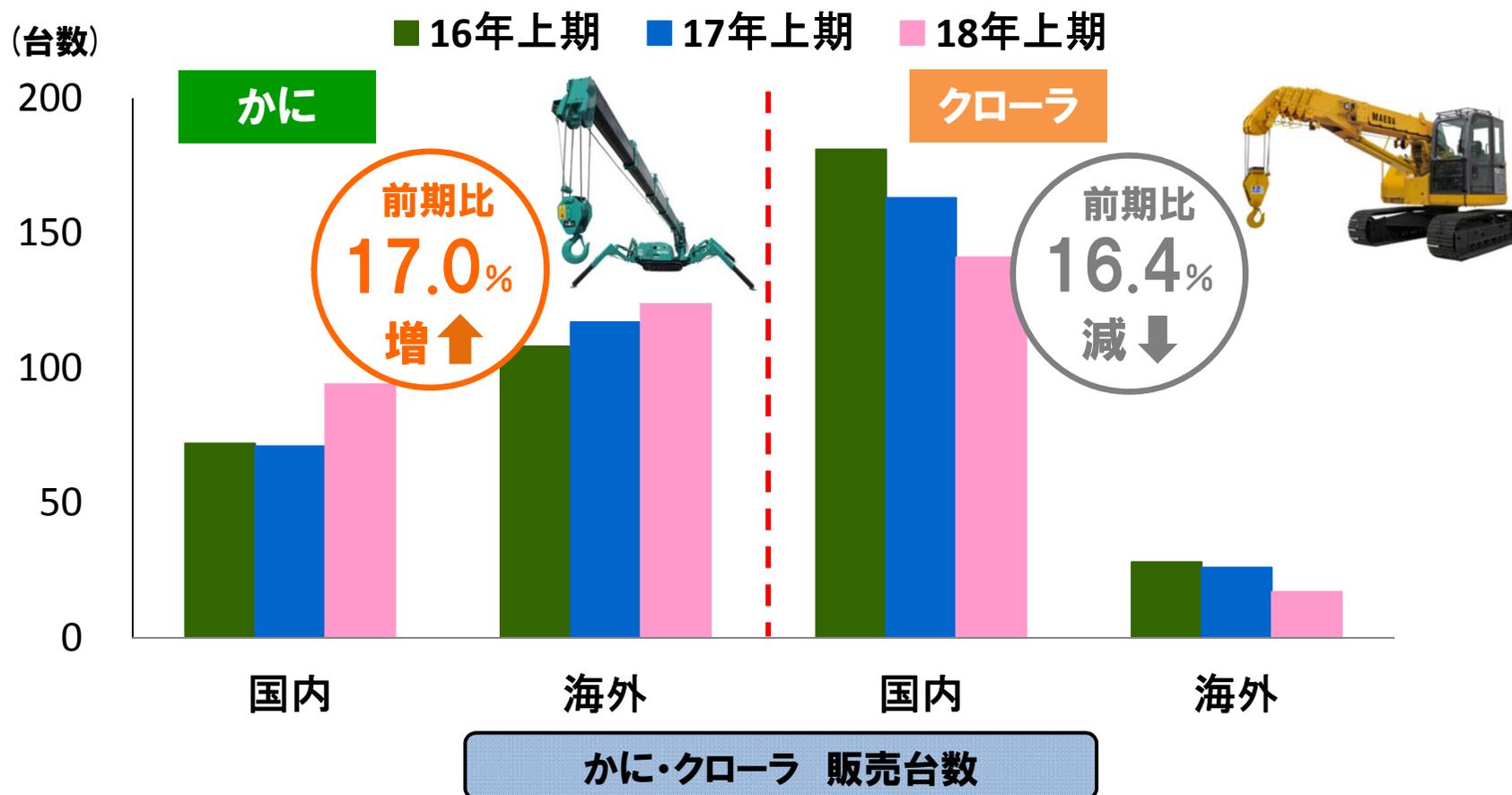
新川シールドマシン

下期取り組み

・MDT30、特装車両 及び 生産設備関連の受注確保

産業・鉄構機械等関連事業

■ 戦略的投資による事業拡大



下期取り組み

- ・国内レンタルへの新機種内覧会実施による拡販
- ・海外 大型MC&CC キャンペーン展開による販売強化

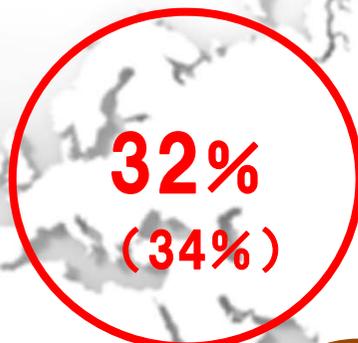
産業・鉄構機械等関連事業

●「かにクレーン」エリア別販売台数比率

ヨーロッパ地域

国と地域：30

- オーストリア ●ドイツ ●ベルギー ●オランダ
- スウェーデン ●ノルウェー ●イングランド
- フランス ●スペイン ●ロシア、他



米州地域

国と地域：5

- カナダ ●アメリカ ●メキシコ
- ブラジル ●コロンビア



アジア地域

国と地域：8

- シンガポール ●ベトナム
- 台湾 ●中国 ●韓国
- インド ●インドネシア、他



オセアニア地域

国と地域：2

- オーストラリア ●ニュージーランド

【かにクレーン販売台数構成比】

()は前年

産業・鉄構機械等関連事業

■ 新製品開発状況【既存分野拡大】

モデル	2018度 上期	2018年度 下期
MC285C-3	市場導入(9月)	
MC405C-3	市場導入(10月)	
MC305C-3		
MC815C (国内仕様)		



【MC285C-3】



【MC405C-3】



【MC305C-3】



【MC815C 国内仕様】

産業・鉄構機械等関連事業

■ 新製品開発状況【既存分野拡大】

《アーティキュレートダンプトラック MDT30E4f》

30項目を超える改善・改良を加え新型機へ

- ◆坑内作業性は断然優位，小旋回性能で他社機を凌駕
- ◆1次排ガス規制車約300台の入替需要を狙う



LED尾灯採用



ディスクブレーキ採用



2019年3月 発売予定



7インチカラーモニター



4次排ガス規制
対応エンジン

産業・鉄構機械等関連事業

■ 新製品開発状況【新分野開拓】

林業

普及型
高性能油圧集材機

FY253

林業機械展 出展
東京都あきる野市
2018年11月18～19日



工場
関連

台車キャスター洗浄機

2018年10月洗浄展 出展
給排水設備不要
簡単設置&メンテ



建築

カーテンウォール
据付クレーン

MC303CF

高層ビル
外装ユニット
大型化対応
工期短縮



IoT

塩カル散布機
遠隔監視システム

DSF i

スマホ操作で
道路凍結防止



産業・鉄構機械等関連事業

■ 新製品開発状況【新分野開拓 その1】

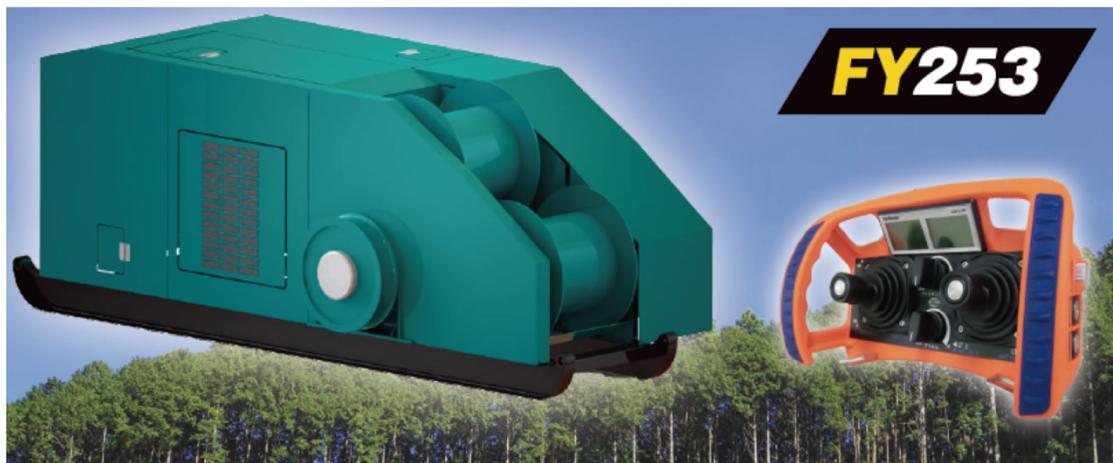
林業

普及型
高性能油圧集材機

FY253 軽量コンパクト化と
基本性能への特化にて
購入しやすい価格を実現

(従来機比)

- ・販売価格 30% ダウン
- ・本体重量 34% 軽量化
- ・外観寸法 34% コンパクト化



3胴完全油圧制御

インターロック(ドラム同調)機能搭載

バックテンション調整機能装備

ジョイスティック操作レバー採用

アクセルダイヤル装備

2段変速スイッチ装備

非常停止スイッチ装備

無線操作化

搬器自動走行

2018年11月18~19日 林業機械展 出展 開催地 東京都あきる野市

産業・鉄構機械等関連事業

■ 新製品開発状況【新分野開拓 その2】

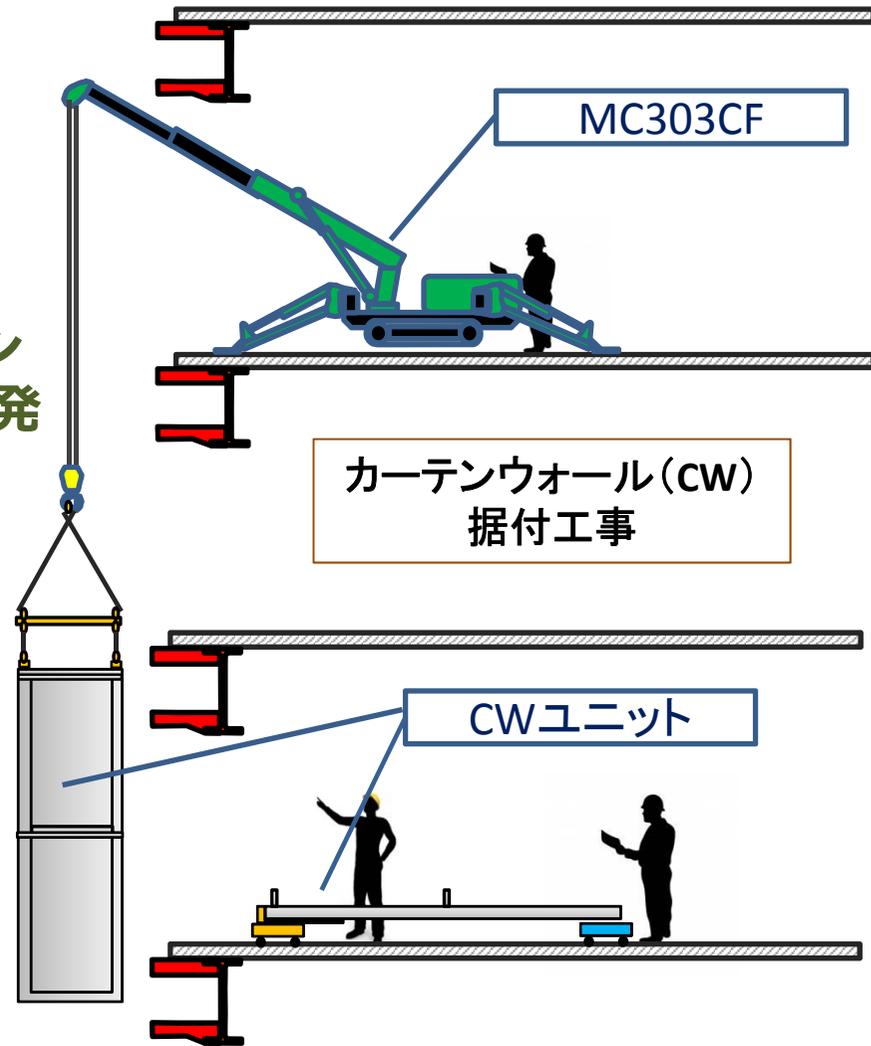
建築

CW据付用クレーン

MC303CF

ゼネコン要望 高層オフィスビル対応
カーテンウォール据付クレーン
を短期開発

- ・安全装置フル装備
- ・本体重量 24% Down(305C比)
- ・クレーン容量 88%Up(283CF比)
- ・エレベータで分解搬送可



産業・鉄構機械等関連事業

■ 新製品開発状況【新分野開拓 その3】

新製品

工場
関連

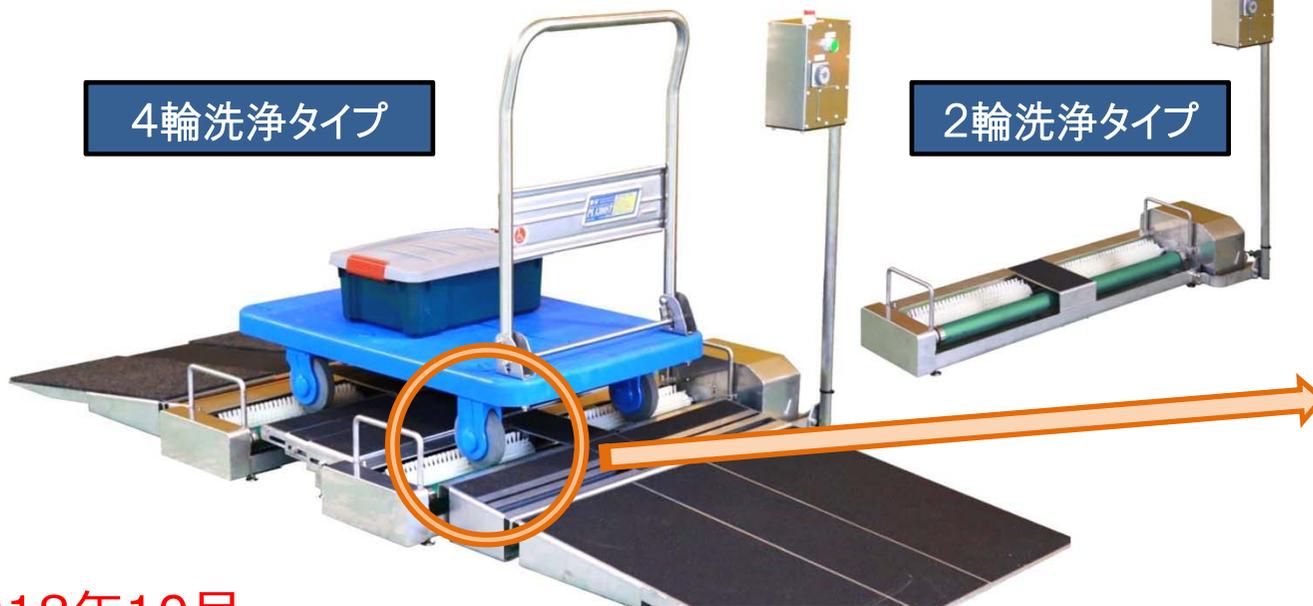
台車キャスター洗浄機

培った洗浄技術による 圧倒的洗浄能力で 商品化へ

◆給排水設備不要 ◆簡単 設置&メンテナンス

4輪洗浄タイプ

2輪洗浄タイプ



2018年10月
洗浄総合展 出展

当年度内の商品化を目指す

産業・鉄構機械等関連事業

■ 新製品開発状況【新分野開拓 その4】

IoT

塩カル散布機
遠隔監視システム



DSF i

「まきえもん」IoT化

モバイル機器から
「まきえもん」遠隔操作

- ・散布指示
- ・路面画像取得
- ・散布タイマー設定
- ・各種装置情報取得

昼光カメラ
赤外線カメラ

赤外線
灯光器

制御ボックス

バッテリー



設置場所
ステータス(エラー等)

赤外線カメラ
画像

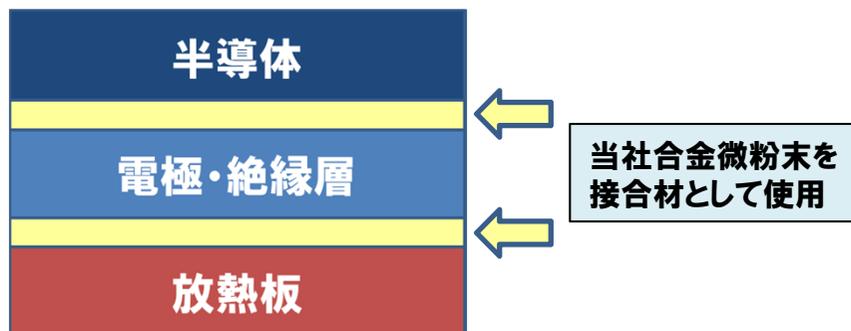


新規事業 合金微粉末製造への取り組み

新規事業

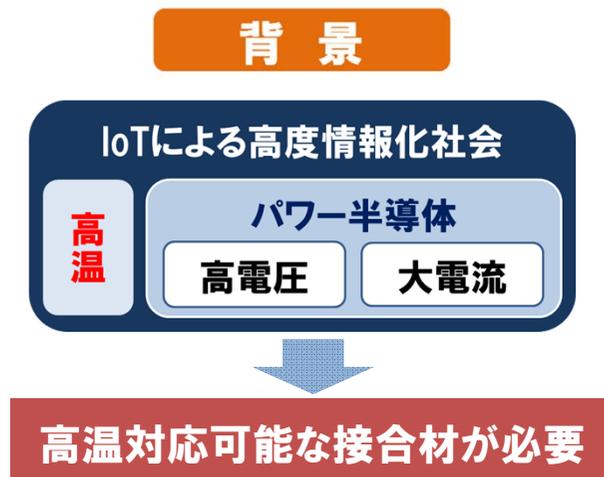
■ 合金微粉末事業への取り組み

① 合金微粉末活用イメージ

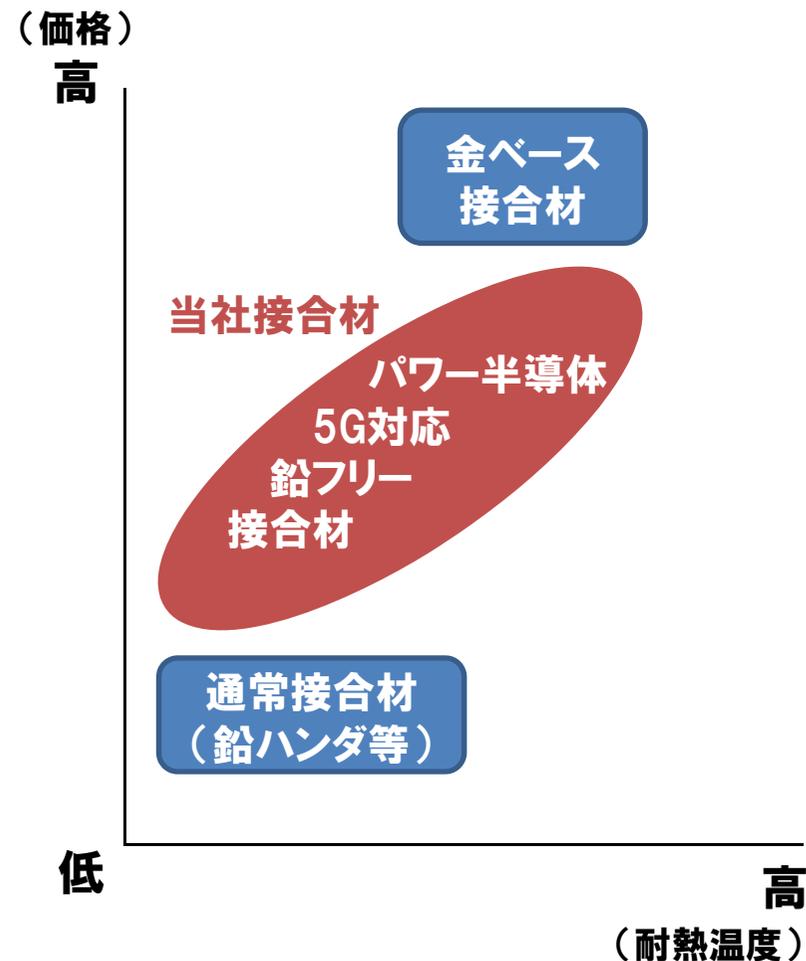


【電子基板の断面図（例）】

② 市場要求

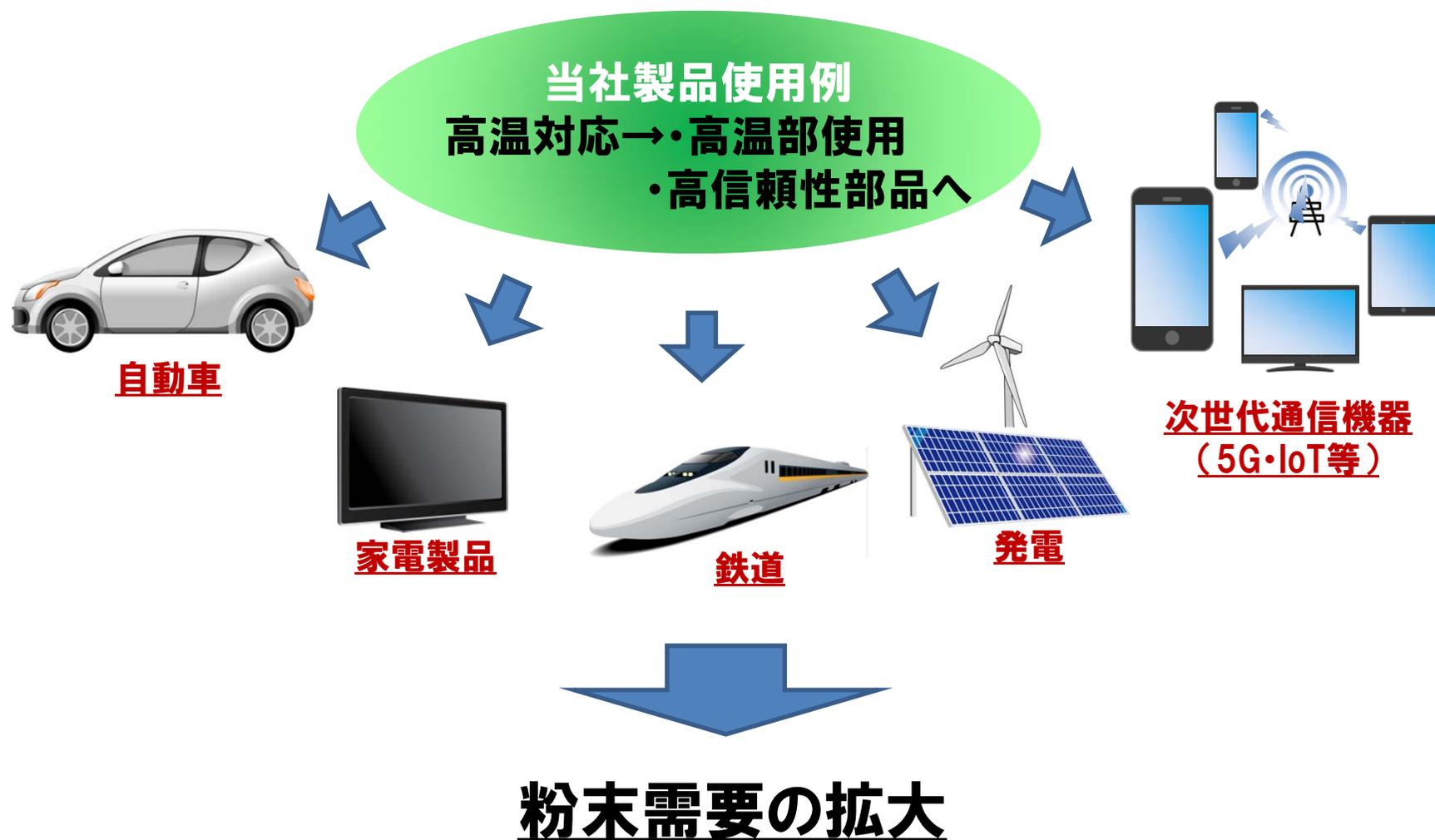


③ 当社接合材の適用範囲



新規事業

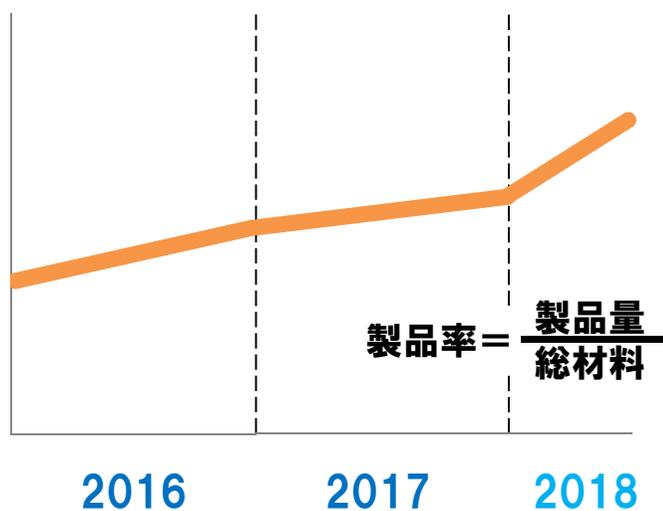
■ 当社合金微粉末の応用分野



新規事業

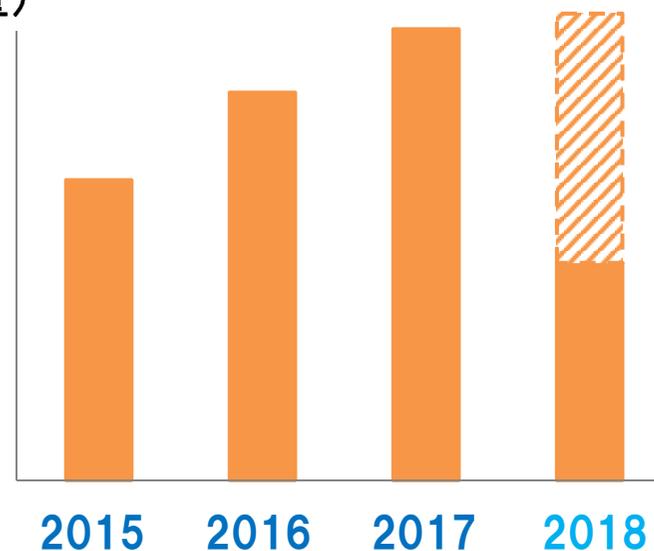
■ 合金微粉末製造における生産効率化の推進

(製品率%)



製品率の推移

(量)



販売量の推移

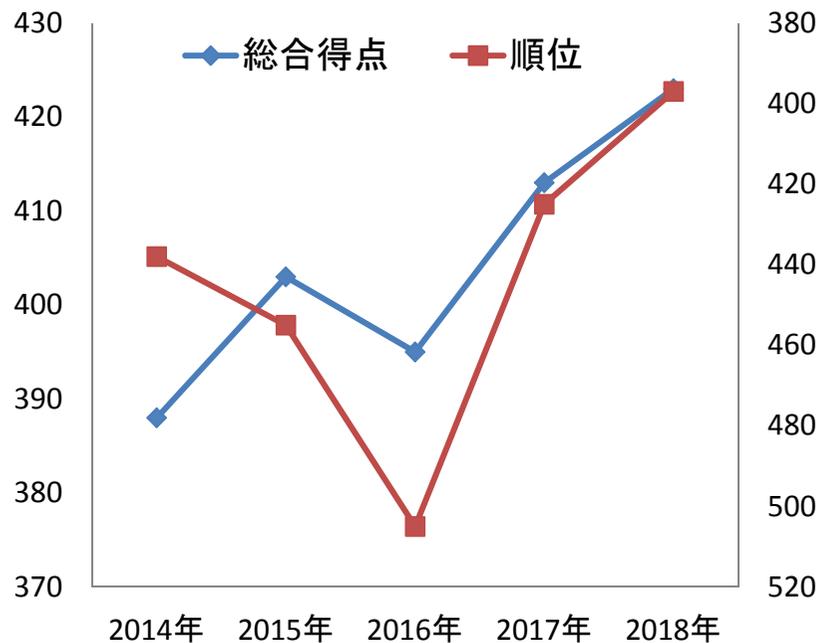
下期取り組み

・製品率の向上による生産効率化の推進

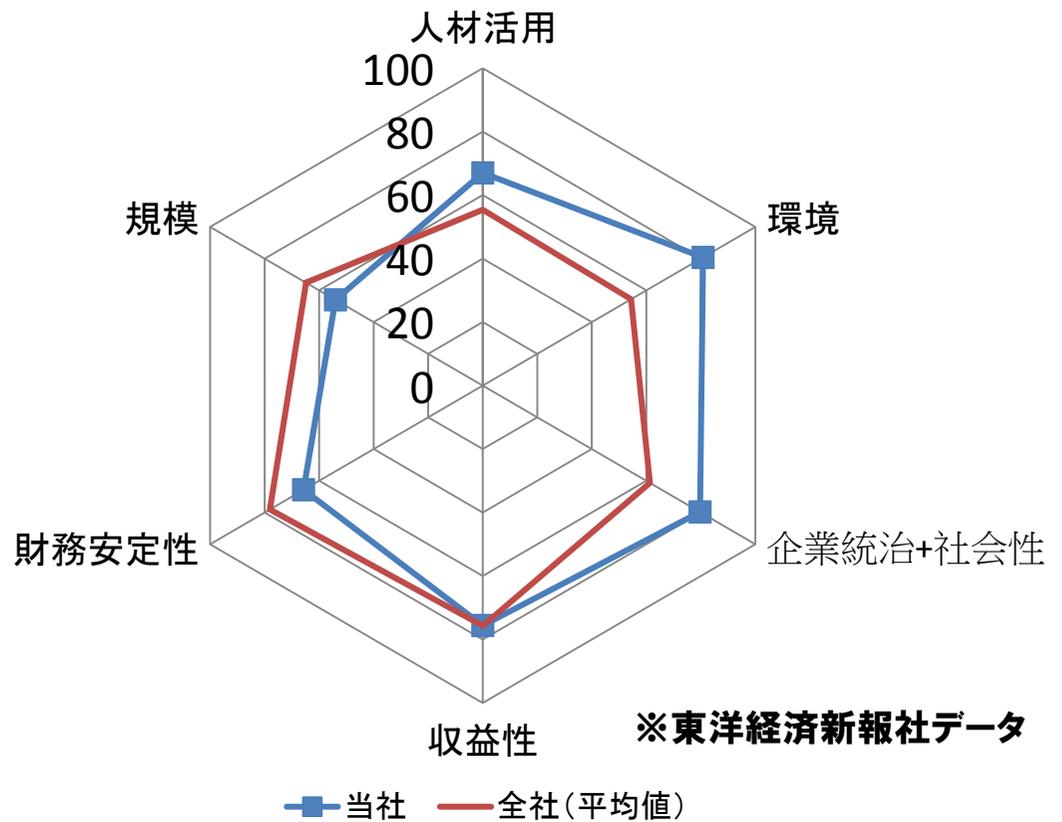
「安全・健康・コンプライアンス」への 取り組み

安全・健康・コンプライアンス

CSR活動



CSRランキング推移



CSR・財務得点レーダーチャート

積極的にCSR活動に取り組みランキングアップを目指す

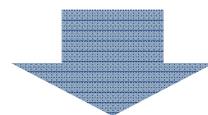
安全・健康・コンプライアンス

■ 働き方改革の推進

勤怠管理システム運用開始

フレックスタイム制度の導入

有給奨励日の制定



快適な職場作りを推進

安全・健康・コンプライアンス

■ 企業価値向上への取り組み

◆ 企業PR広告・TVCM制作、他



【JR長野駅構内 企業広告】



【リクルート向けHP】

3. 今期の取り組みと 今後の見通し

今期の取り組み

マエダクレーン誕生50周年

記念イベントの開催

サプライヤー・販売店とのミーティング
ユーザ向け内覧会



今後の見通し

■ 建設投資・労務需給

- ▶ 引き続きコストの増加懸念、
地域による需要格差が残る

■ 外部環境

- ▶ 海外経済の不確実性や
地政学的リスクが残る

先行き不透明な状況で推移

2018年度 通期見通し

【2018年度 通期業績予想】

(単位:百万円)

	2017年度 実績	2018年度 見込
売上高	36,694	35,500
営業利益	1,882	1,520
経常利益	1,932	1,550
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,338	1,050

下期の取り組み

1. IoT活用による
ソリューション事業の推進
2. 新製品投入による市場喚起
3. 新規事業の進化と拡大

2019年3月期 経営目標の達成

お問い合わせ先

株式会社前田製作所
管理部

TEL : 026-292-2222

FAX : 026-293-0370

E-mail : info@maesei.co.jp

本資料には、2018年11月9日現在の将来に関する見通し、および計画に基づく予測が含まれており、確約や保証を与えるものではありません。
経済情勢の変動等の様々な要因により、見通し予測等が実際の業績と異なる可能性がある点を認識された上で、ご活用ください。